夕刊
五月二十五日發行
定価一ケ月金五拾銭（郵税共）
日曜祭日翌日休刊
昭和十年五月二十六日（日曜日）
第四千三百三十二號
（一）

騒音禍

内田恒哉

市側の實現も間近に、着は、時と所を擇ばず耳につく々躍進の途上にある大都市の經驗を踏襲して、漸く街頭騒音時代は街廻りジンタ、チンドンを現出しようとしてゐる——と云ふてもさほど過言ではない位、實際最近は交通機關の發達にしても著るしいものあり、交通量の增加は、只に之より必然さるゝと化して、不斷のリズムを奏でるそれが釀し出す騒音の、吾人の聽神經を刺戟する度合も亦看過出來ぬものがある

乃ち、自動車、オートバイの消た魂しい爆音、警笛は、さらでだに來梢的になにうつゝある現代人の感覺を一層尖銳化し、殊に突然である場合など、むしろ腹立たしい程である

その他、頻繁を極むる諸車馬の來往は終日喧々囂々全く街音發生の主因をなして居り、とりわけ下町居住者は絶えず被害？を蒙りつゝある

之に就いて、昨年だつたか東京では、騒音防止デーを試みて對策を講じたこともあつた。勿論、彼と我とでは未だ距離もあり、種々の事情よりして、同日に談ずるは無理だが、このことは、多かれ、少かれ何處でも、都市生活者の共通の惱みであらうと思ふ

聞くところによれば、ラヂオ、蓄音器の普及に伴ふ擴聲器の高音量となりて現はれるのであるる、恰度物質が一定の運動階段に達すると質的變化を呼び起す、即ち量は質に一て居る、又學は幼なき子をさくらに、桃に、菜の花に花でかざつた花御堂甘茶をかがれ佛さまちいさい、はだかの佛さまけふは、あなたの誕生日きれいな、きれいな花御堂すもゝ、れんぎょう、たんぽぽにひらひら、蝶々も舞うてくるさあさあ、甘茶を召しあがれとほい昔に、佛さま印度で生れた、誕生日きれいな、きれいな花御堂かこんで、たのしい花まつりどこかで、雲雀のこへもする

動に脅かされるので、特にこの感が深い譯である。市中に住むも亦難いかなである

敢へて騒音禍と呼ぶ所以

平俳黎會

大和田水明報

戀猫の振舞あらき月夜かな　香村子

戀猫のまた啼きやまぬ夜半の庭

春暁の窓を開けば小鳥啼く

春暁の街こひしく荷馬車哉　雪水

春暁の矢聲勇まし鰯船

軒下に友呼ぶ宵や猫の戀

春の曉大川に竝立ちこめて　水明

逆立ちて戀猫啼くや柿の梢

春の猫還啼く宵の小雨かな

花祭

島田忠夫

きれいなきれいな花御堂

推薦短歌

新妻久滿男選

『宵』　萩原たけ

○やんはりと薄絹まとふ感觸に、こゝろなごます春の宵かな

○春の夜はおぼろにかすむ月にさへ、なにか親しき感興のわく

○物語る噺に吾子ときゝ入りぬ、とのもは今宵おぼろ月して

○逝く春の今宵佗しくわが居ればかすかに尺八の音のひゞき來る

小說

誰が殺したか

(27)　國枝史郎作

第一の殺人（二十七）

ホールからはバンドのワルツがきこえてゐた

定吉は、蝶子が死んでからは、親か兄弟にでも死なれた者のやうに、力が拔けぼんやりしてしまつた

今も、自分の仕事場でぼんやりして、蝶子のありし日の俤を胸に浮べてゐた

ワルツがハタとやむと所持品預け所のそばの、ダンサー通用口からアンナと波路が、イーヴニングの裾をひら〳〵さして、昇降口の隣りのトイレットへはいつて行つた

程なく、波路の笑聲がかん高く響いて、二人はそこから出て來た

『アンナ、今の手つき、あれは何ダンスつての？』

『かうなの』

アンナはそこで踊り出した

それは支那劒舞のやうな踊りだつた

ふと、定吉はそれを見るなり、手を擧げて入口からホールの中へ駈け込んだ

『待てッ！』

定吉は、まだ一度も足を踏み入れたことのなかつたホールへ、猛然と躍り出して、氣のやうにアンナを眼かけて追ひ駈けた

丁度、次の曲が始まつたホールには澤山の人々がダンサー達の中で、靑ざめて苦しさうに息を喘いでゐた

まだ動悸が納まらなかつた。恐怖が消え去らないのか、まだ口もきけなかつた

定吉は、平泉支配人や二三人の男達に腕をとられ黒山のやうな人々に取圍まれてゐるうちに、夢から醒めたやうに、つひ今しがたの殺氣立つた影が顏から消えてから毎晩ホールの客席に姿を現はす、實は私服の刑事だつた

支配人の腕から定吉を引取ると

『ちよつと』

と出口の方へ引立てゝ行つた

定吉はすぐ警察の人だと感づいた

『警察へ行くなら、關屋さんに會はして下さい』

と、定吉は案外落着いて云つた

さうして、ホールの中は、わあつと、蜂の巢を突いたやうな喧嘩が湧き立つた

人々の半數はアンナを取圍んで護り、半數は定吉を取押へて圍んだ

アンナはダンサー達の中で、靑ざめて苦しさうに息を喘いでゐた

恐怖が消え去らないのか、まだ口もきけなかつた

定吉は、平泉支配人や二三人の男達に腕をとられ黒山のやうな人々に取圍まれてゐるうちに、夢から醒めたやうに、つひ今しがたの殺氣立つた影が顏から消えて、踊つてゐた人々は、その時やうやく氣がついて、カップリを解いたダンサーも男たちも、豆を撒き廻すやうに、ごちやく〳〵に入れ混つて、ホールなり、ホールの中へ駈け込んだ

『待てッ！』

定吉は、まだ一度も足を踏み入れたことのなかつたホールへ、猛然と躍り出して、氣のやうにアンナを眼かけて追ひ駈けた

丁度、次の曲が始まつたホールには澤山の人々がばかり、ホールには澤山の人々がまだ動悸が納まらなかつた。恐怖が消え去らないのか、まだ口もきけなかつた

定吉は、平泉支配人や二三人の男達に腕をとられ黒山のやうな人々に取圍まれてゐるうちに、夢から醒めたやうに、つひ今しがたの殺氣立つた影が顏から消えて、踊つてゐた人々は、その時やうやく氣がついて、

吉田眼科病院

平町紺屋町　電話六八番
醫學士　吉田久雄

五月人形

特價賣出し

御座敷飾
武者人形
御陣道具
布鯉類

平町三丁目
金太郎玩具店

新田町のおでん
かん酒　榮ちやん
（十二、三の小年）
至急募集

廣告

株式會社
合資會社
三共商事
平町大町電三六〇

新車御披露

素晴しい乘心地の！
三十五年式流線型新車が參りました。

是非御試乘御利用の程を御願申します。

平二
三井タクシー
電話六八五番

拜啓　新緑の候御淸榮之段奉欣賀候
小店儀三丁目北通に於てマルキヨウ共榮漆器店の名儀にて拾餘年間營業致し居り候處各位の絶大なる御愛顧御引立により御蔭を以て逐日業務進展の域に赴き候爲甚しく店舗の狹隘と不便とを感じ居候處、今回本通り二丁目十六番地に移轉致し屋號も此際近江屋と改稱仕り誠實勉强親切第一主義を一層徹底せしめ度存じ居り候へば茲に渝らざる御眷顧相仰ぎ度此段謹轉改名の御挨拶旁々平素の御引立を謝し尙今後の御指導御鞭撻を御願申上候

昭和十年五月　敬具

舊名マルキヨウ共榮漆器店
改
各國產漆器
筆筒指物類
家具雜貨商
神佛具一式
文具裁縫具
卸商
店主　近江屋　橫幕仁三郎
福島縣平町二丁目
電話七二一番

美線流の眞

交の線直線クローム化を排してクロ又も美しき
35年型拔群の
入荷
陸の王者
チヤンピオン流線ダツヂ
彩りも花と艶を競ふ……銀ネヅミ
御試乘下さい
素晴らしい乘心地を！
認可公局運輸東京鐵道
シーエー不二タクシー
電話三二番

店員募集

二十才以上二十六、七才迄　一名
十四、五才小店員　一名
希望ノ方ハ履歷書持參參談アレ（委細面談）
平町二丁目
日東商會

診療時間

夜間
婦人科
花柳病
産科
性病
小兒科
皮膚科
專門
松村病院
（平町南町電一〇七番）

吸入用酸素

純度99%

體量度

モノサシ
マス
ハカリ

計量器

体溫器
寒暖計

關内藥局

電話四〇番

◎秤ノ取扱ヒ
◎緒・糸・絲・垂ノ復致シマス

御參詣團体募集

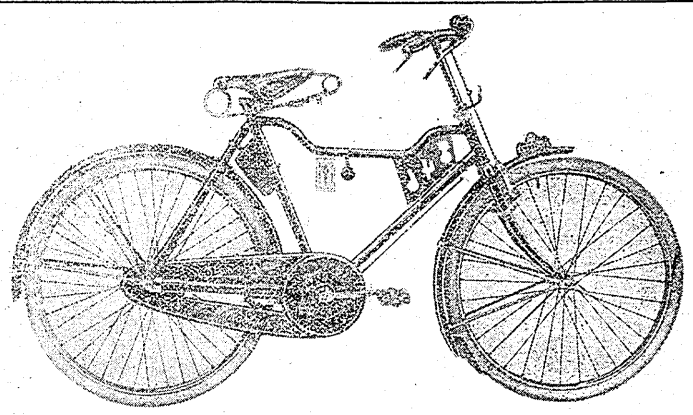
一、柳津虛空藏尊
（猪苗代湖―白虎隊廻り、自動車賃往復）
御一名金二圓也
申込締切五月三十一日、出發六月一日午前四時

二、成田山
（宗吾樣―笠間稻荷廻り、自動車賃往復）
御一名樣金二圓五十錢
申込締切六月三日、出發六月四日午前三時

三、日光
（笠間稻荷廻り、御一名樣自動車賃往復金二圓五十錢）
申込締切六日五日、出發六月七日午前一時

定員は各車共二十二名。
定員未滿ノ節ハ勝手乍ラ延期致ス事モアリマス
尙御希望ニ依リ各種團体モ御相談ニ應ジマス

主催　尼子遊覽部
電六四〇番



頑固車

盜難豫防用
正價三十八圓五十錢

フタバ商會
平・新川町・橋際

脱線天候を征服する 隣保相助の一大美風

自然の暴逆何かあらんの意氣旺盛

共同掃立 山間部結束

脱線天候は目下發育中の郡下春蠶にも少らす惡影響を及ぼし平坦地に比し約十日間遅れて目下掃立中の三坂、澤渡の山間部、或は上小川方面では此の天候を懸念し擧村一致で掃立をなし今後發育中に起る軟化病の撲滅から來月上旬頃の上簇にも同樣協力してこれに當るべく申し合せをなした、尚不順天候による桑不足から目下桑葉の相場は一貫目十錢乃至十五錢位で賣買されてゐると

磐中第九回生 坂梨氏榮轉 札幌刑務所長に

宮城刑務所長坂梨森太郎氏（磐中第九回卒業生）は今回札幌刑務所長に榮轉することになつた、氏は群馬縣の人であるが中學時代鐵道員たりし父君の許から磐中に通ひ二高から帝大を出た法學士で昭和六年四月大分刑務所長から宮城刑務所長に轉じ今日に至つた人である

平町會

平町會は來月五、六日頃開き戸數割資產狀況による資力算定並に青年學校役立其他雜件を附議する筈

稻苗融通 ―（飯野村）―

昨今の天候不順が齎した苗代の猫毛病は既報の如く郡内全般に亘つてその猛威を逞ふしてゐるので郡農會其他關係筋では昨年の二の舞を踏んではと目下各農家を督勵してこれが防止に努めてゐるが此の分で今後愈々猖獗を見れば來月中旬頃の田植季を控へて苗不足を懸念した飯野村方部では早くも各部落が協議の上苗の伸長したものから順次田植をし行つて剩除苗はこれを不足者に分讓してやらねばと美しい隣保愛の所有者も出て來た程であると

藥液を撒布して全苗代を保全 好間村で對策決定

腐敗病と共に水田苗代の大敵たる害虫驅除に關しては目下各町村に於て惱んでゐるが好間村ではこれが徹底的撲滅を期する爲一昨二十三日開かれた農業各種組合長會議に於て所有苗代一反歩當り十五錢と農會に於て一反當り五十錢位の補助金を出して驅除液の大量購入をなし近く全村苗代に撒布しその絶滅を期する事となつた

勞働手間賃

同村では農耕手間賃を左記の如く協定した

（田植）―辨當持九十錢、肴附七十錢 （養蠶）―辨當持七十錢男、六十錢女 （梨袋掛）―綿卷藁縛千枚に付五十錢 （梨袋掛）―綿卷留金（又は針金）千枚に付四十五錢 （茶摘）―一貫目に付二十五錢、五月二十四日開始一日毎に金一錢下り （田除草）―辨當持六十錢、肴附四十錢 （桃袋掛）―千枚に付三十錢 （梨袋掛）―普通藁縛千枚に付四十錢 （梨袋掛）―普通留金又は針金千枚に付三十五錢

梨立木品評會

同村では今秋梨立木品評會を開催する事に決定した

平町學務委員會

青年學校設立に伴ふ豫算及細則を決める平町學務委員會は來月三日の處都合により一日午前十時からに繰り上げられた

本縣は來月半ば頃 鰹漁季近づく 磐城丸調査報告

過般來千葉縣野島沖合の鰹漁場を探査中だつた縣指導船磐城丸は昨二十四日夕刻小名濱に歸港したがこれが報告によると漸次北上して目下の漁場は千葉縣野島沖合百乃至百八十浬で水温は十九から二十度の好温、餌付も極めてよく、大型漁船が何れも豊漁に手具脛ひいてゐるが現在の處では五、六百匁の小さいもので相場は六割位であると、尚本縣沖合の最盛漁季は來月中旬頃になるであらうと云はれてゐる

好間尋校職員奉仕

好間尋常小學校々長以下七名の職員は、兒童の洗足に難澁してゐるのを見兼ね、此程甲斐々々しく鐵匙をとつて見事な洗ひ場を造り上げ、尚は從來腐朽汚損してゐた便所の踏臺をコンクリートに改造し、その面目を一新して父兄兒童から喜ばれてゐる

平町青年團新役員決定

平町青年團では此程新役員を左の如く決定した

郡代議員―佐藤源吉、同補員―薬谷喜多郎、修養部長―佐々木俊男、同理事―大山庄松、小野滿義、体育部長―石坂一雄、同理事―草野央、岡田健吉、同理事囑託―永島磯惣太、熊謙次郎、水竹伊之助、根本武雄、加藤正邦、井上佳都美、石田伸六郎、西牧滿富

産馬獎勵金交付

澤渡村下市萱齊藤壽、同草野正明、田人村黒田小宅好文、上遠野村瀧上遠野幾七の四氏は産馬成績優良で此程山崎農相より産馬獎勵金各二十圓を交付された

中堅農民講習

石城中堅農民男子部は來月一日好間、女子部は來る三十一日泉村で何れも同地講習を行ふ

初夏の陽光に映えて 愛しい稚子の大行進

今明二日間に亘つて盛擧さるる 二十三夜尊遷座式

漲る法悅

平町宵の盛り場として毎月例祭毎に多數善男善女で賑ひを見せてゐる十五丁目二十三夜尊は既報の如く堂宇の新裝成つたので舊四月の例祭たる今二十五日から二日間をトし晴の遷座式を行つてゐる、けふは午後一時から着飾つた稚兒約四千名が勢揃ひして本町通りに繰り出し、二日間に亘る護摩修法の外餘興として相馬民謠家原田一行の二十餘名を招ぎ兩日共午後一時から同十一時迄民謠大會（飛入歡迎）を催す等少らす賑ひを呈してゐる

一朝有事の場合は地下室へ奉遷 善美を悉くした新本殿

二十三夜尊は外三御尊体を祀り元三丁目裏邊にあつたが明治三年の大火で烏有に歸してから現在の場所に移轉建立し更に數年前南町佐川角造氏の父君等が發起となつてこれを普提院に納めたものだが狹隘の上腐朽甚しい處から去る昭和七年九月工費六千五百圓を以て現新殿の改築に着手はしたが時節柄淨財募集容易ならず苦心慘澹の結果竟に千七百四十圓の寄附を取纏めた

新殿の材料は主として地方産の堅實なものを選み全般に亘つて棟梁十五丁目大垣道太郎、彫刻家後藤祥仙兩氏の奉仕的努力のあとが窺はれ更に災厄に際しては御本体を奉遷する地下室（縦七尺横九尺）の設備等萬遺漏無きを期した優秀な建物であると

古河社長旗爭奪軟球戰

來月二日好間で

古河社長優勝旗爭奪第二回軟式野球大會は來月二日午前八時から好間村古河グラウンドに於て、古河本社、原町紡績、好間鑛業所の三チーム參加の下に開催さるるがシーズン劈頭の快試合として當日の接戰を豫想されてゐる

豊間音樂會

平町の兒童も參加

音響學的に地方最初の試みを加へた近代式の新講堂とピアノを備へ得た豊間村小學校では講堂とピアノの眞の價値を村民に認識せしむるため來月一日午後一時半からピアノ演奏會を催すが平町より武藤貞輔氏外兒童七名出席すると

投槍 投稿歡迎

○我田引水。○。○。

◇上京陳情幾度か、地方民十年來の懸案だつた平小鐵道の實現もやつと目鼻が付いてやれうれしやと喜んだのも束の間、今度は經由線奪取に血眼になつて爭ひ始めた樣だ、折角の獲物も何時どうなる事やら困つたもんだ

◇鹿島經由線も、片濱經由線も皆それ〲の立場からそれ相當の理由はあるだらうが、將來の發展性、重要性からは勿論商業上、工業上等あらゆる點から論じて前者よりも後者の場合の方が影響が多く、必要性が多い事は何人と云へども否めない事であらう

◇成程、鹿島線は片濱線に比して建設費、起終驛間の時間等の立場からは幾らか有利な點があるかも知れないが、然し建設の眞目的はそうした些細な事に左右さるべき性質のものではなく、何處が一番地方産業の發達上必要であるかゞ根本問題であると信ずるのである

◇以上の點からして吾人は、人口の密な、地方産業の重要區域たる片濱經由線を望むべきではなかろうか

◇我田引水式にばかり走り、眞の使命を失すが如きは最も愼むべき事ではなからうか。十年間絶へざる努力によつて今日の域に達したる平小鐵道の一日も早く活躍さるゝ樣切望する次第である （東北生）

知事聯隊長青年校視察

平町青年學校設立は目下着々準備中であるが、來月上旬伊藤知事及び齋藤若松二十九聯隊長により視察されると

受給資格の紛紜で 八十嫗の主張通る 老後朗かな元官吏未亡人

平町揆槌小路一二居住本籍同町白銀町九久栖サタ（七九）嫗が平町市井辯護士を代理人として嫗の長男久栖道男（五三）を相手どり平支部に申立てた身分確認請求事件は昨二十四日口頭辯論に於て原告が請求通りの判決あつた

サタ嫗は同家の本家目下東京市豐島區高田南町一丁目久栖磐男（三四）の先々代道蔵の弟篤氏に嫁し道男氏以下を擧げ、官吏であつた篤氏が大正四年死亡した翌五年道男氏は分家の際本家に殘る筈だつた嫗が何の謬りか道男氏の家族と入籍され乍ら公務員の遺族として扶助料を受けてゐたのを昨年末分家に在籍する事が判り受給失格と從來支給額の還付を通知されたので分家は意思でなく、又死者の遺族に誤りない事を明らかにするため本訴に及んだものである

從つて多額の返還も不要となり嫗の老後から蟠りが取り去られた譯である

落磐で重傷死

今二十五日午前二時頃内郷村磐炭綴新斜坑の落磐で折から入坑作業中の採炭夫郡山市桑野北町生れ遠藤鐵藏（三二）が重傷間もなく死亡した、同坑は一昨年十月操業以來最初の落磐事故であると

猫婆坑夫檢擧

好間村隅田川炭礦坑夫渡邊二郎（三七）は去る十日同係白柳勘造から郷里相馬郡大須村の妻へ送金する爲小爲替を組む樣依賴された十五圓を横領費消し昨二十四日平署に檢擧された

留守なら盜む 物騷な削り節行商

郡下各地を荒して捕はる

小名濱町竹町削節行商鐵新一郎（三五）は去る三月中旬頃湯本町關船村山金次方の留守宅に忍び入り金品物色中を發見され逃走中の處昨二十四日小名濱地内を徘徊中を平署員が逮捕取調べの結果、去る二月湯本町水野谷農業宅から白米四升を盜つた外郡内各地を空巣專門に十數件を荒し廻つた事を自白した

賭博の宿怨から 血の雨を降らす

明後日湯本土工の公判

湯本町向田四五土工賭博前科七犯越智新一（四三）が博奕の宿怨から同町土木請負業山崎庄吉（五三）方に泥醉の果て侵入携帶の出刄庖丁、鉈等で爐端に食事中の庄吉を毆りつけ、胸部その他に全治一ケ月の傷害を與へた事件は明後二十七日平區で香西判事係り、白水檢事關與公判開廷されると

鄕土の史的時事解說（二） 白水阿彌陀堂の第二回修理

本堂宇の特別保護建造物並に内廚安置五佛像國寶各指定に就て （完）

勿來生

即ち

海東出羽權守平朝臣安忠尚在府中、其頃、海東一番大家の爲平氏、故に世の人是を稱海東平氏、安忠四代の嫡傳海東太郎忠衡、號府中庄司、（國魂系圖では、此の人を以て、岩城の初代に似たり）の舍弟を海東次郎忠衡、後號三休入道、是に府中を讓る、忠衡の嫡子海東小太郎平朝臣成衡（會津四家合考、常陸三家譜所收の岩城系圖には、則道、忠衡、成衡を兄弟と記す）、常陸大掾（成衡の之に任じたるは誤りなるべし）と號し、東奥に下向して五郡の中領是、（中略）五十一歲、永曆元年二月廿五日卒す。妻は藤原朝臣基衡の息女也、後號德尼御、男子五人女子二人有之

かくあり、是れは次の系圖類本などより參取したかどうかは不明だが、其れを示すと左のとほりである

忠衡、（以下原註）太郎、常陸大掾、府中莊司、―成衡（以下原註）海道小太郎、藤原秀衡妹婿

此後室號德尼御、永曆元年二月廿五日死、五十一歲、（岩城規基藏岩城系圖 彰考館藏仁科岩城系圖）

又、岩城や會津方面に古傳する之の例を序いでに出せば

國香より九代目を安忠と云、安忠に二子あり、則道、泰貞と云ふ、則道は少き故ありて泰貞を國に留て、奧州に左遷せらる權太郎秀ひら妹を以て則道に嫁せしめて岩城の郡主たらしむ、是岩城家の大祖なり、其子を忠隆（ひらの誤りか、國魂系圖は忠ひらを以て岩城系圖の則道、成ひらに當る）と云ふ、忠隆より六代目を好島太郎師隆と云ふ、（中略）其子を岩城次郎隆行と云ふ（會津四家合考、岩城世家の節略、招拾雜記所載）○忠ひらを以て岩城の祖とするのは、前示の仁科、規基、國魂其の他の記錄にも之を傳へる

二十六日（小名濱測候所調査）

日出 四、二六　月出前 〇、一五
日沒 六、四二　月沒後 〇、〇九
滿潮 前九、五〇 後一〇、五五　干潮 前四、〇五 後四、三五

二十七日

日出 四、二五　月出前 〇、四五
日沒 六、四三　月沒後 一、一七
滿潮 前一〇、一〇 後一一、五五　干潮 前五、五五 後五、五〇

舊四月二十四日 日曜 壬寅 先負 收 星宿 新五月二十六日

略判定應需 東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

▲一白 利口振りて人の信用を失ひ易き日注意せよ▲二黒 鯉を逃がし雜魚を得るも捕らざるに優る▲三碧 質朴を主とし内を守るべし外に在りては不利▲四緑 一時の順風に乘り出すも後は逆浪に逢ひ易し▲五黄 氣を締め油斷なく勵む時は大望も成るべし▲六白 小人の言を妄信する時は不測の災を招く▲七赤 此まで紛きうし居りし事も有利に解決すべし▲八白 小なる事に心を痛めず大處に着がんすべし▲九紫 大事な所まで漕ぎ付けて後力の足らざる日

舊四月二十五日 月曜 癸卯 佛滅 開 張宿 新五月二十七日

▲一白 健全の歩調を採れば運氣至つて吉たるべし▲二黒 有頂天にならぬ樣足元に注意し進むべし▲三碧 何事も手堅く守り慣れぬ事に手を出す勿れ▲四緑 昨日の味方も今日は敵なり易き不安の日▲五黄 自然と活氣付き來り思はず彼岸に達する日▲六白 りふりふの汗より生れし利得の現はるゝ大吉日▲七赤 我意を通さんとする時は意外の失敗あり▲八白 姿彼の氣を一掃し發奮すれば事業大に揚る▲九紫 運勢揚らず爲す事行き違ひを生ずる注意日

技術改善

◎工場擴張報告

工場新築增設三十坪を加へ工場機械整備各位の御注文に對し技術改善は勿論廉價迅速に製作可仕候間倍舊の御愛顧を希上候

昭和十年五月五日

製作品種目 高壓タービンポンプ 電動捲揚機 シロッコ旋風機 コールクラッシャー 送炭用チエンコンベヤー

良品廉價

福島縣平町字堂ノ前 合資會社 吉件製作所 電話平二二五番

運動―服裝は

型と生地の良い……大塚へ 安價と仕立の良い運動具屋の品を

野球・庭球・競技用 ユニホーム マーク御注文に應す。

△アンダーシャツ △トレーニング パンツ シャツ 最新型・豊富 △ノータイシャツ

弊店自慢の……パンツ 十五錢より 粒り品澤山有ります。 何卒御用命の程を……

洋品店の品と御くらべ下さい。

田町の…… 大塚 電話 七七番

自轉車ハ左記 有名車ヲ御撰擇下サイ。

世界的ニ進出セル ◎宮田ノ自轉車

夙ニ堅牢輕快ノ定評アル ◎ゼブラノ自轉車

實用經濟車トシテ好評アル ◎マーツ自轉車

◎マーツ號ノ好評ヲネタミ羊頭狗肉ノ策ヲ用ヒ僞物ヲ販賣ナシ商權ヲ侵害ナシツヽアル者アリ法的解決ニヨリ御得意樣ノ御了解ヲ得ン

宮田代理店 ゼブラ代理店 マーツ代理店 エビスヤ商店 電六六四